

防災分野のデータプラットフォーム整備 にむけた調査検討業務

デジタル庁における防災情報のデータ連携を実現するためのプラットフォームの構築に向けた検討概要

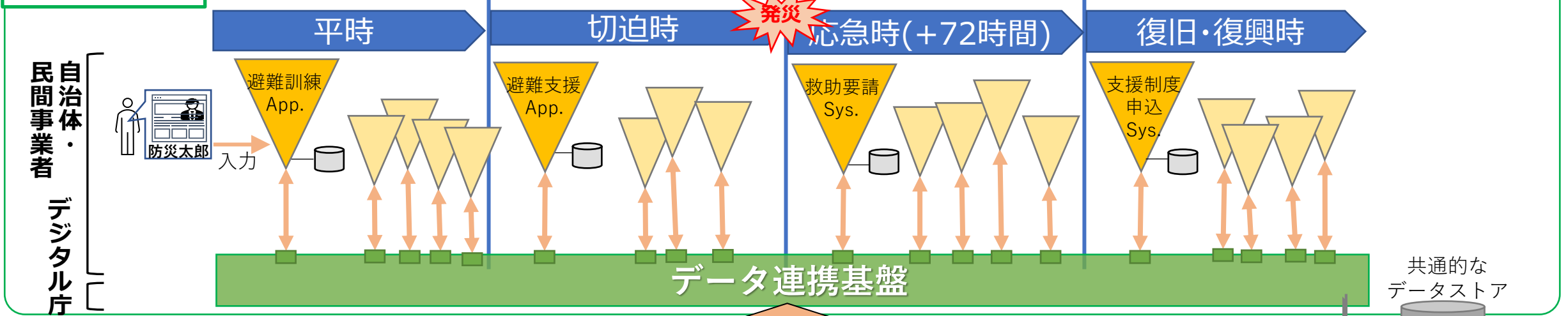
デジタル庁

令和4年11月21日

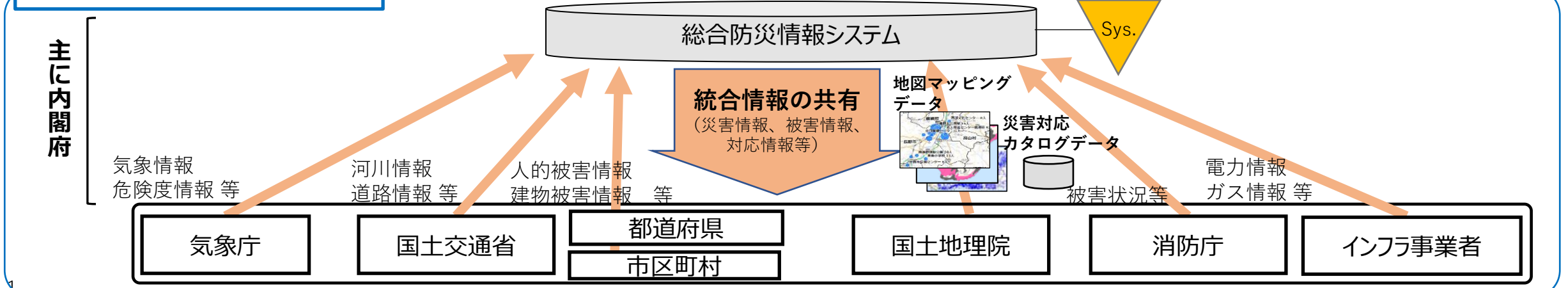
防災分野のデータ連携のためのプラットフォーム

- 個々の住民等が災害時に的確な支援が受けられるよう、防災アーキテクチャの検討を進め「データ連携基盤」の構築を進めるとともに、災害対応機関等で災害時の情報共有を図る「防災デジタルプラットフォーム」を構築

住民向けの支援

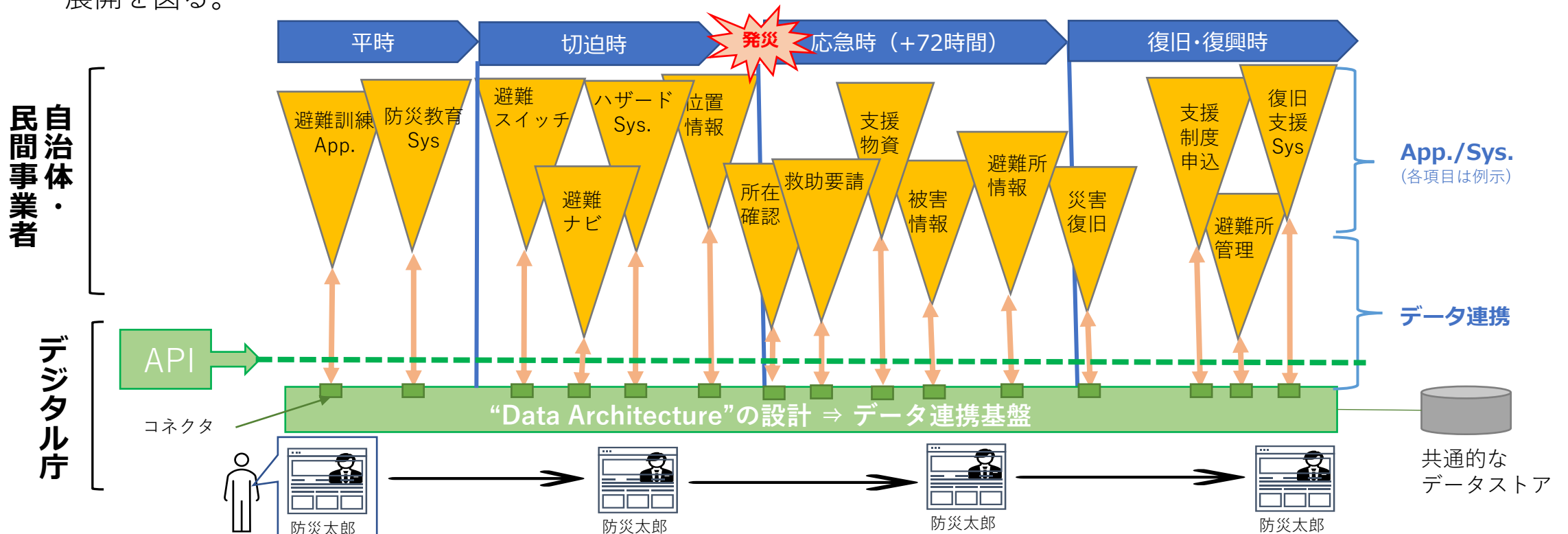


災害対応機関間での情報共有



住民向け支援（防災アーキテクチャの検討）

- 他分野同士でデータ連携がされないままアプリ等が乱立されると、各アプリ等が独自にデータの入出力を求め、住民にとって多重入力が増える負担となる。
- このため、防災アーキテクチャ（データモデル含む）設計のうえデータ連携基盤の構築等を進め、合わせて、APIの公開に関するルールを定めることにより、アプリ等でワンストップの徹底を図る。民間や自治体の様々なアプリ等でデータ連携が可能となり、住民が様々なサービスを受けることが可能となる。
- 防災アーキテクチャに基づくデータ連携基盤に則ったアプリ等が構築された場合に、デジ田交付金の活用等も通じ、横展開を図る。



行政機関保有を含む個人情報 → 基本的な情報は再入力フリーに。各App/Sysが必要な情報を追加/改訂。それを各サービスが必要に応じ取りに来る。

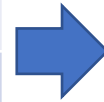
災害対応機関間の情報共有（基本的な情報項目の作成）

- 防災デジタルプラットフォームの構築にあたっては、災害時にデータ連携がスムーズに行えるよう、政府相互運用性フレームワーク（GIF、デジタル庁策定）を活用し、デジタル庁と内閣府が連携しながらデータ項目やデータ仕様等の設計を進めている。

準拠していない独自データ

独自設計のデータ

データ項目	データ
内容	〇〇避難所 この避難所は・・・
場所	〇〇公民館 △△2-1-2
開催日	3月10日 13:00～17:00
連絡先	△△市 99-9999-9999



準拠しているデータ（例）

サービスで使われるデータ

データ項目	データ
タイトル	〇〇避難所
説明	この避難所は・・・
場所	〇〇公民館
住所	△△2-1-2
開催日	2022-03-10
開場時間	12:30
開始時間	13:00
終了時間	17:00
連絡先	△△市
連絡先メール	aaa@aaaa.jp

検討状況・今後のスケジュール

- 2022年、デジタル庁のフレームワークにもとづき、各データ項目やデータ構造の検討開始。
- 2024年以降、調整できたデータから順次、次期総合防災情報システムに実装開始。

防災・減災、国土強靱化新時代の実現のための提言資料

